

平成28年度 第2号



三鷹中央防災公園・元気創造プラザ

2017年4月のオープンに向けて整備が進む、“三鷹中央防災公園・元気創造プラザ”5階建ての建物に子ども発達支援センター、総合保健センター、福祉センター、生涯学習センター、総合防災センターが入居し、敷地の大部分は開放的な中央防災公園に、そしてその地下には総合スポーツセンターという大きな複合施設になります。

■ 目次 ■

- 巻頭言 ご挨拶……………(1)
- 初春研修・新年会……………(2)
- 保護司組織運営連絡協議会……………(2)
- 秋の叙勲・褒章受章者……………(3)
- 東京更生保護事業関係者顕彰式典……………(3)
- 社会を明るくする運動……………(4)
- 平成28年度多摩地区保護司全体研修会……………(5)
- 平成28年度地域活動推進協議会講演会……………(5)
- ボランティア団体BBS……………(5)
- ぶんくトピックス……………(6)
- 地域別定例研修……………(7)
- 更生保護女性会活動報告……………(7)
- 桐友会だより……………(8)
- 市のデザインマンホール……………(8)
- 新任保護司紹介……………(8)
- 編集後記……………(8)

北多摩東地区保護司会の皆様におかれましては、日頃より地域の安全・安心のための更生保護活動に多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、近年は急速な社会情勢の変化によって犯罪も多種多様となり、いじめを原因とした卑劣な少年犯罪、成人による凶悪な犯罪、職や社会的な地位があるにも関わらず薬物に手を染めてしまう人のニュースなどが絶え間なく報道されています。

今年度は更生保護を取り巻く環境に様々な変化がありました。刑の一部執行猶予制度が始まり、私自身、薬物のニュースには敏感になりました。社会で見守る期間を長くし、再犯を防止するための有効な措置として設けられた制度というところで、本来実刑である期間に社会の中でどのように対象者と過ごすべきか、市長として、そして保護司の一人として熟慮する必要があると感じています。

また、地方公共団体の責務として、再犯の防止等について地域の状況に応じた施策を推進し、犯罪被害を防止し、安全に安心して暮らせる社会の実現を目的に、再犯の防止等の推進に関する法律が昨年施行されました。法



ご挨拶
国分寺市長
井澤 邦夫

公共団体としても、社会を明るくする運動を通して、今までも様々な取り組みを行って参りました。国分寺市では、ひまわり畑(迷路)活動や小中学生による吹奏楽コンサートを通じて広報活動を実施しています。昨春秋には、地元テレビ番組において、ひまわり畑の紹介と社明運動について取り上げていただきました。

保護司活動や社明運動については、一朝一夕で成果がでる活動ではありません。しかし、更生保護・犯罪予防に関する保護司の皆様は、ますます重要になっています。市としても、保護司活動への協力をはじめ、誰もが住みやすいまちづくりに尽力していきたいと思っております。

結びに、北多摩東地区保護司会の益々の発展と保護司の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたします。

平成29年

初春研修・新年会

恒例の初春研修・新年会が1月20日に吉祥寺・東急レイホテルにて開催されました。

第1部の研修のテーマは、「更生保護の今後の見通し」で、東京保護観察所立川支部長村木康弘様に講演して頂きました。

講演では、はじめに平成29年度更生保護関係予算案について説明があり、続いて保護観察所が重点的に取り組んでいる事項として、地域連携支援の活動強化、再犯防止推進計画、懲役刑の見直し、少年法対象年齢の引き下げの検討、保護司制度の維持についての解説がありました。

第2部の新年会では、ご来賓の国分寺市長井澤邦夫様・武蔵野市議会議長深沢達也様をはじめ、多数の地区会員並びに事務局を担当する4市事務局職員の方々にご参加いただき、合計84

名の出席がありました。新年会の中で当該年度に表彰された会員の方々に北多摩東保護司会から記念品を贈呈致しました。

(総務部長 尾崎 幸信)



第7ブロック

保護司組織運営連絡協議会について

今年度の保護司組織運営連絡協議会は調布・狛江地区保護司会が当番で10月20日調布市文化会館たづくりにて開催されました。今年の協議題は「保護司の研鑽活動を考える」であり、次の3点について意見発表がなされました。

- ① 保護司会内の研修部などによる自主研修等の企画立案の進め方について
- ② 新任保護司及び経験年数が短い保護司に対して研鑽の場をどのように提供しているか
- ③ その他・研鑽の場をどのようにに設けているかについて

各地区で取り組んでいる研鑽活動の意見発表がありました。北多摩東地区の意見発表では、当地区会員相互の親睦を兼ね隔年で2泊3日の更生施設視察研修を実施しており、各分区では、施設研修等を年2回実施している例などを紹介しました。他地区の発表では、青少年の健全育成、社会を明るく



する運動等の実施、ベテラン保護司による経験談の発表、関係団体への参加、研修会への参加などの意見発表がありました。他地区の事例紹介から多くを学び、保護司の活動に取り入れるための参考となりました。

(武蔵野分区 村雲 祐一)

秋の叙勲受章者 瑞宝双光章

武蔵野分区 大矢 照男氏



平成28年11月9日付、秋の叙勲において、大矢照男氏が瑞宝双光章の榮に浴されました。大矢氏は、昭和63年9月保護司を拝命、平成21年11月法務大臣表彰を受章、28年にわたり多くのケースを担当する傍ら、副会長・分区長・監事・理事・総務部長・研修部長・地域活動部長として活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

秋の褒章受章者 藍綬褒章

国分寺分区 中藤 伸彌氏



秋の藍綬褒章において、中藤伸彌氏が藍綬褒章を受章されました。中

国分寺分区 本多 俊一氏



秋の藍綬褒章において、本多俊一氏が藍綬褒章を受章されました。本

藤氏は平成1年5月に保護司を拝命、平成23年9月に法務大臣表彰を受章、多くのケースを担当し、活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

多氏は、平成1年5月に保護司を拝命、平成23年9月に法務大臣表彰を受章、多くのケースを担当し、活躍されました。衷心よりお祝い申し上げます。

東京更生保護事業関係者顕彰式典

平成28年度の東京更生保護事業関係者顕彰式典では、北多摩東地区保護司会の44名の方々はその功績を顕彰されました。

叙勲(秋) 瑞宝双光章

大矢 照男 (武蔵野)

藍綬褒章(秋)

本多 俊一 (国分寺)

中藤 伸彌 (国分寺)

法務大臣表彰

大久保 喜代子 (小金井)

全国保護司連盟理事長表彰

田中 孝良 (武蔵野)

日本更生保護女性連盟会長表彰

西尾 恵子 (武蔵野)

関東地方更生保護委員会委員長表彰

孤島 法夫 (小金井)

高玉 泰子 (三鷹)

宅島 正孝 (小金井)

立川 八重子 (武蔵野)

信山 勝由 (小金井)

望月 加奈子 (武蔵野)

関東地方更生保護委員会委員長感謝状

立川 八重子 (武蔵野)

関東地方保護司連盟会長表彰

大久保 良子 (武蔵野)

大澤 正男 (小金井)

大野 寿美子 (三鷹)

小川 和男 (小金井)

川畑 青史 (小金井)

齋藤 武 (小金井)

佐藤 美由紀 (小金井)

田中 久美子 (国分寺)

前田 秀樹 (武蔵野)

松友 了 (国分寺)

村雲 祐一 (武蔵野)

和地 誠一 (国分寺)

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

池谷 敏子 (国分寺)

東京保護観察所長表彰

池谷 敏子 (国分寺)

宇田川 正浩 (三鷹)

笠岡 展子 (三鷹)

戸倉 央江 (国分寺)

東京保護観察所長感謝状

井爪 利恵子 (小金井)

稲留 美美子 (三鷹)

小此木 ふじゑ (武蔵野)

田中 久美子 (国分寺)

東京都保護司会連合会会長表彰

飯村 雅洋 (武蔵野)

遠藤 百合子 (小金井)

小泉 利康 (国分寺)

坂田 米子 (国分寺)

高橋 榮治 (武蔵野)

林 博行 (国分寺)

藤尾 忠洋 (小金井)

東京更生保護女性連盟会長表彰

川畑 美和子 (小金井)

高麗 美智子 (三鷹)

第66回 社会を明るくする運動 「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

国分寺分区

ひまわりコンサート

8月30日に市立いずみホールにて、「吹奏楽ひまわりコンサート（小学校の部）」を開催しました。

今回参加した3校の演奏は、「完成度が高く、一生懸命演奏している姿に感動・感激しました」というような感想が多く、また、北多摩東BBS会の発表や社会を明るくする運動の活動紹介も「活動内容を始めて知った」、「面白い社会作りに一人ひとりの協力が必要だと感じた」という感想が寄せられ、「社明」を多くの方に知っていただくよい機会になりました。（和地 誠一）



武蔵野分区

「第36回むさしの青空市」が11月13日午前10時よりむさしの市民公園にて開催されました。保護司22名が参加し、「社会を明るくする運動」のリーフレットやポケットティッシュ、カットパンを来場者の方々に声掛けをしながら配布しました。

また、棒状石鹸などの刑務作業製品の販売を行い、どれも好評で完売することができました。

このように啓発品を配布することや作業製品の販売をすることでより多くの方にこの運動を理解していただき犯罪や非行を防止し、



安心安全な地域、立ち直りを支える地域づくりのちからになっていただけのことに願っています。（木川 憲子）

三鷹分区

く下連雀八幡大神社例大祭、社明パレード

賑やかな囃子、重厚な音を轟かせる大太鼓、ギネスにも載る日本一の神輿巡行。沢山の市民が見守る中、横断幕、幟り旗を掲げての社明パレードは今年15年目。立ち直りを支えるチイキのチカラをアピールする絶好の場となっています。

また三鷹市立第四中学校2年生佐藤史菜さんが、第66回社会を明るくする運動、東京都推進委員会作文コンテスト優秀賞及び更生保護女性連盟会長賞を受賞されました。おめでとございます。（小林 悦子）



小金井分区

10月15日・16日の両日、小金井公園において「第44回なかよし市民まつり」が開催されました。中央ステージでは子供たちに大人気のジュウオウジャーショーや和太鼓の演奏などの催し物のほか、焼きそばや豚汁など約100店舗が出店し、地場の野菜や小物などの物販も行われ大賑わいでした。

小金井分区では「保護司会小金井分区コーナー」を設け、うどん・石鹸・折り紙などの矯正作業製品の販売を行い、収益金の一部は更生保護施設へ寄付をさせていただきました。



また、アンケートによる薬物乱用防止啓発活動を中学生と共に行いました。（信山 勝由）

平成28年度 多摩地区保護司会連絡協議会 保護司全体研修会

水谷 修氏 講演会

「あした、笑顔になあれ」

夜回り先生

水谷先生と云えば、生徒指導が難しいといわれる定時制高校に勤務し、週末を中心に夜の繁華街をパトロールしながら、直接少女少女と向き合い、夜の世界から昼の世界へと戻るように声かけをして回ることから、「夜回り先生」と呼ばれています。

先ず先生から「お子さんを叱った数とほめた数のどちらが多いか？」との質問に、会場では叱った方が多い人が圧倒的でした。

大人のイライラや、夫婦げんかに子供が巻き込まれ、自分自身も攻撃的になります。ほめることにより「自信や自己肯定感」が育ち、そして、温かい言葉で家庭を満たすことにより「生きる力」が育つと言います。会社でのイライラが家庭に持ち込まれる現象が顕著になってきています。

このようなイライラやストレスで夜眠れなくなり、夜の町へ出て大人の社会へと足を踏み入れるのです。先生は子供たちに夜の世界から昼の世界へ戻るようにと訴え続けています。

先生から登下校時に、地域の大人たちが声かけをする「8・3運動」(8時の登校時・3時の下校時)の提言がありました。深夜徘徊している子どもたちがいれば、声かけや状況により警察に通報する等、地域の大人が子供たちに対して関心をもつことが重要であり、過日あった寝屋川の男女中学生の殺害事件も防げたかもしれません。

大人たちが子供たち一人ひとり温かく見守り、注意深く接していくことの重要性を再認識し、このような活動を広めていくことが如何に大切であるかを痛感いたしました。

(小金井分区 小川和男)

平成28年度地域活動推進協議会講演会 「子どもの貧困について」

平成28年度地域活動推進協議会が9月16日午後2時より三鷹駅前コミュニティセンターで村木康弘東京保護監察所立川支部長をはじめ更生保護に関わる多くの方々の参加を得て開かれました。会長及び支部長の挨拶に続き、平成21年に認証を受けたNPO法人キッズドア理事長渡辺由美子氏にご講演頂きました。

日本の子どもの6人に1人、ひとり親家庭の子どもの2人に1人は貧困で、少年院収容者の家庭も貧困者の割合が多いそうです。保護者の経済状況が子どもの成績や進学に影響しています。

キッズドアでは、キャリア教育を通じて貧困の連鎖を断ち切る為に子どもに寄り添いながら学習支援や体験活動を行い、全ての子どもたちが将来に夢や希望を持てる社会の実現を目指しているそうです。講演終了後、各地区それぞれ地域の諸問題について話し合いを行い発表して頂きました。

(地域活動部 高橋 豊)

ボランティア団体 BBS

BBS会会長 町田 唯香

BBSとはBig Brothers and Sistersを意味しており、青少年少女たちのお姉さんやお兄さんのような存在として一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむボランティア活動をしようという学生が中心となって構成されている団体です。

全国に地区会が設置されており、北多摩東もその一つです。北多摩東BBS会では、子どもたちの学習をサポートする学習ボランティアや月に1回子どもたちとレクリエーションをするという活動をはじめ、主に小学生・中学生を対象にしたものも行われている一方で、更生保護施設の方とグループワークをするというような活動も行っています。幅広い年齢の方を対象としたボランティアを行うなかで、私たち会員もとても良い経験をさせていただきます。今後とも社会がより暮らしやすいようになりますよう願っています。活動していきたく思います。



ぶんくろピックス

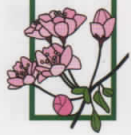
三鷹分区

視察研修報告

今年の管外日帰り研修は、12月7日に千葉県市原市にある市原学園を視察しました。ここは、第一種少年院（短期社会適応過程）で早期改善の可能性が大きい少年を対象とし、収容期間は6カ月以内としています。



教育の特色としては、社会奉仕活動など各種プログラムを実施することで、少年の自主性や自律性の伸長を目指し、非行の内容や少年一人ひとりが抱える問題性に即した教育を実施しています。また、特徴的な教育として、保護者参加型の教育行事や特別面会など親子ぐるみの取り組みが進められています。



今年度は、再犯防止法が参議院本会議で可決成立しました。犯罪や非行のない社会に向けて、更生保護活動の必要性と重要性について今回の研修を通して再認識しました。（小俣 崇）

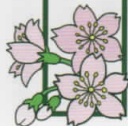
小金井分区

久里浜少年院を視察して

12月13日、私たち12名は、神奈川県横須賀市にある久里浜少年院を視察しました。



この少年院には反社会的価値観や行動傾向等、非行の程度が深い少年や、16歳未満の少年等90名が収容されており、内1割が外国人少年です。教育期間は、11ヶ月若しくは12ヶ月で、多くは成人に近い少年たちです。院内では



職業指導の一環として、陶芸指導を実施しており、生徒の作品を「長瀬焼」と呼んでいます。

その他、パソコン指導、生活指導、教科指導を行っています。それぞれの教室を見学し、役割と意義について説明を受けました。

職員の方々は、少年の犯罪傾向を矯正し、健全な心身を培い社会生活に必要な知識や能力を習得させるため生活・職業指導等が有機的になされています。

改めて保護司の役割と使命について考えさせられた視察でした。（宅島 正孝）

国分寺分区

「少年非行について」の研修会

12月16日、「少年非行」についての研修会が行われました。

少年非行の増加、凶悪化の話があり、家庭裁判所の裁判官や協力雇用主など非行少年に接する実務家の意見を統合し、生活習慣、社会性と規範意識、学校や家庭等への帰属意識、友人関係、自己評価など、非行少年の特徴について紹介されました。まとめとして、平



成13年の日弁連の調査結果では、非行少年は親による虐待経験を持つものが多く、幼児期から自己肯定感の持てない者が重大犯罪を起こしてしまふ等、物事の判断が「不快」でしか考えられず、周囲との協調性・共感性に乏しく、強い劣等感を持っていて、短絡的思考で凶暴化しやすく、いじめの被害と加害の両方の経験があることを指摘しています。（林 博行）

武蔵野分区

関東医療少年院を視察して

少年院と言うと、高い壁に鉄格子といった暗い感じですが、ここはその様子があまりありませんでした。

校舎に入る手前に少年院の子供達が作成した大きなハニワの像があり、構内に暗いイメージはありません。工作室や体育館なども見て周り



ましたが、体育館では家族を呼んでの夏祭りも開催され、ここの子供たちの楽しい風景が想像されました。

工作室には、コップやお茶碗、版画もあり、版画のカレンダーは目を見張るものがありました。

少年院に入院している子供たちは、犯罪に手を染めてここに居るのですが、こちらの作品等を観る限り普通の子供達と変わらない様子で、少年院の先生たちの努力と愛情の賜物だと思えました。



家庭や地域の大人たちが時に優しく時に厳しく接する事が本当に大事だと痛感しました。

(渡邊 芳弘)

地域別定例研修

平成28年度 第Ⅱ期地域別定例研修
テーマ「刑の一部執行猶予制度」

平成28年度第Ⅱ期地域別定例研修は、10月16日に武蔵野総合体育

館で、28日に国分寺市役所で開催されました。出席者は2会場で計69名でした。

今回は、東京保護観察所立川支部の羽田信行主任官の講義で進められました。

6月1日付け、「刑法等の一部を改正する法律」及び「薬物使用等の罪を犯した者に対する刑の一部の執行猶予に関する法律」が全面施行され、この制度がスタートしました。



講義は①刑の一部の執行猶予制度の概要②刑の一部の執行猶予の保護観察対象者の処遇について③薬物対象者に対する処遇についての解説があり、続いて質疑応答で終了しました。

今回も大変有意義な研修でした。(研修部 鈴木 忠良)

第Ⅲ期地域別定例研修

テーマ「家族への働きかけ及び家族とのかかわり方」

○平成29年2月20日(月)
午後2時～4時

武蔵野プレイス4階フォーラム
○平成29年2月27日(月)
午後2時～4時

国分寺市立本町・南町地域センター



更生保護女性会活動報告

ミニ集会

北多摩東地区更生保護女性会

会長 立川 八重子

本年度は、関東地方更生保護女性連盟結成55周年、東京更生保護女性連盟結成60周年の記念すべき年となりました。

また北多摩東地区更生保護女性会は、14年ぶりに関東地方更生保

護女性連盟の「ミニ集会」のモデル地区の指定を受けました。「ミニ集会」は大変重要で、活動目標の1つになっております。

実行委員会を中心に4市ごとに「ミニ集会」を行いました。

実施にあたり更生保護女性会を知って頂けるように、活動のしおりを参加者に配布いたしました。

またテーマを考える一つになればと「児童虐待」、「不安障害に基づく犯罪」の講演会を開催し、子ども・親・高齢者・近隣等様々な話題が話し合われました。

主催してくださった方は、「やって良かった。またしてみたい。」と感想を述べていました。

開催にあたり保護司の皆様をはじめ多くの方々のご協力をいただきました。

今後とも継続され、地域の連帯感が深まり、青少年の健全育成や犯罪、非行予防に繋がるよう願っています。



今後も継続され、地域の連帯感が深まり、青少年の健全育成や犯罪、非行予防に繋がるよう願っています。

桐友会だより

山代 法道



平成28年4月27日、第1回理事会を開催。事業・収支決算報告。

平成28年6月29日、第2回理事会を開催。「会員の集い」の計画。会長、副会長等役員の改選。

平成28年9月13日、第35回「東京桐友会会員の集い」が、アルカディア市ヶ谷で開催。北多摩東桐友会から保護司会長、担当保護司及び会員6名が参加。

平成29年2月15日、第3回理事会を開催。平成29年度の事業計画、予算(案)

北多摩東桐友会の活動

地区の活動は例年と同じく地区や分区の主催する、総会や社会を明るくする運動等への参加でした。(人会者)

三鷹 片野 理代

馬詰 耕輔 薄田 有鄰

小金井 石田いく子 本木 治子

武蔵野 伊藤 紀子

国分寺 亀田 裕彦

(退会者) 国分寺 尾又 秀了

(平成27年6月1日以降。敬称略)

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

平成二十九年三月一日発行

発行者 編集人

北多摩東地区保護司会 孤島法夫 電話〇四二(三八二)一〇七一

三鷹市のマンホールの蓋

三鷹市内には14,515個(平成28年3月時点)のマンホールがあります。その中に、蓋の絵柄が通常のものとは異なる、市の花「はなかいどう」が描かれたものがあります。その数たったの…9個!



見つけた方はラッキーかもしれません!

武蔵野市のマンホールの蓋

武蔵野市内には沢山のマンホールがありますが、現在の消火栓のふたは、昭和50年代に、道路上で「誰にでもすぐ見えるように」との願いからこの可愛いデザインになりました。

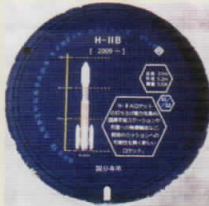


デザインマンホール

国分寺市のマンホールの蓋

国分寺市は、国分寺駅の北口から早稲田実業学校までの歩道に、日本のロケットが描かれた12種類のマンホールふたが設置されました。

国分寺市が日本初のロケット発射実験が行われた「国内宇宙開発発祥の地」であることに由来して、ロケットのデザインが採用されたそうです。



12種類のマンホールふたは、ロケットが開発された順番に並んで設置されており、自然に日本のロケットの歴史がわかる仕掛けになっています。

小金井市のマンホールの蓋

中央に力強い桜の幹があり、桜の花が散りばめられています。270年前に新田開発の一環として植樹した桜並木は花見の名所となりました。

ふたには、小金井橋を中心とした「国指定名勝小金井(サクラ)」がデザインされています。



新任保護司

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待いたします。



(三鷹分区) 塚越 明夫 平成28年12月22日発令



(国分寺分区) 本多 勇 平成28年12月22日発令

編集後記

春寒次第に緩み、一雨ごとに春の息吹が立ち込めてまいりました。お陰様で125号も皆様方のご協力により発刊することができました。現在の広報部員は3月末をもちまして任期満了となります。4月より新部員により、丁寧に読み易く編集していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

広報部員一同

